

第2回第2次白馬村スポーツ推進計画策定委員会 会議録（要約）

招集年月日	令和2年2月5日（水） 午後2時00分			
招集の場所	白馬村保健福祉ふれあいセンター 2階学習室			
開閉会の日時	開会	令和2年2月5日（水） 午後2時00分		
	閉会	令和2年2月5日（水） 午後3時25分		
出席者数	委員数 11名の内 出席者 8名			
出席委員	職名	氏名	職名	氏名
	委員長	山岸 忠	委員	松沢 斉
	委員	横澤 幸一	委員	前田 千恵
	委員	稲田 良太郎		
	委員	下川 辰男		
	委員	飯島 忠一		
	委員	松澤 宏和		
事務局	生涯学習スポーツ課 課長	関口 久人	生涯学習スポーツ課 主査	内川 直人
傍聴者	なし			

1. 開 会

2. あいさつ

○山岸委員長

スムーズな会議運営に協力をお願いしたい。

3. 協議事項

(1) 第1回委員会の振り返り

事務局が第1回委員会議事録の要点を説明した。

(2) 第2次白馬村スポーツ推進計画修正(案)について

事務局が資料のとおり赤字部分の変更点を中心に説明した。

○委員

基本方針②の子どもについての目標設定は、満足度や楽しかったと感じた率等にしてはどうか。

放課後の時間の使い方について、外遊びが減っている。体協スポーツクラブで今年度新たに子ども向け卓球教室を開催したが、放課後の遊び場を求めている。また、保護者も安心して預けられる場を求めている。

○委員

身体障害者福祉協会では、ボッチャやスポーツ吹き矢をやりたいニーズもある。指導者を紹介してほしい。

→事務局

そういったケースでの指導者のマッチングを含んでの、基本方針①の取り組み事項(2)①となっている。ボッチャについては、生涯学習スポーツ課でも県を通じて用具の調達を検討している。

○委員

全体的に写真を入れた方がよい。また、これまでの取り組みについては全体を総括した内容がほしい。目標については一貫性のあるものにしてモニタリングしていく必要があるのではないか。

○委員

雪合戦の大会など、村外からの参加者が多く、村内からの参加者が少ないイベントについて、村民が参画する工夫が必要ではないか。

→事務局

雪合戦については、今年度から群馬県に会場が移った。チームを作って出てもらった過去もあるが、

ここ数年は村内から出ていない。スポーツをしない方をいかにして外に出すかを中心に考える必要があると感じている。

○委員

冬のスポーツの場が少ないと感じる。シニアクラブや飯田区では、屋内でもできるスマイルボウリングに取り組んでいる。開催すると40~50人が集まり、大変盛り上がる。参加者は、これまでゲートボールやマレットゴルフをやってこなかった方が集まった。また、子どもから大人までできるため、親子で参加するところもある。参加人数からすると4面ほど必要だが、1面10万円という費用も掛かるため飯田区所有の2面と大町市より2面借用している。ちょうど2月6日に多目的ホールで行うので、観に来てほしい。

○委員

子どもが道草をできない。真っ直ぐ帰宅しなければならない、安全意識が過剰と感じる。川や森で遊ぶことから学ぶことは多い。また、白馬村の子どもは、全体的に運動ができる子どもが多い印象。夏場はサッカー、冬場はスキーといった取り組み方をしている子どもも多い。サッカーのように1年を通じて指導者が見られる環境は大切に、指導者の熱意や影響が大きいと感じている。

○委員長

子どもの数が減っている点と、ゲームをやっている時間が非常に多い点が気になる。親もゲームをやらせている方が楽という感覚もあるかもしれないが、その時間を外で遊ぶ時間に充てられたらと普段から感じている。

○事務局

ゲームの話題が出たが、今回の計画についてeスポーツに対する記載をすべきか否かご意見を伺いたい。

→委員

県の考えを伺うのもひとつではないか。

→委員

知り合いで取り組んでいるところがある。一度様子を見て、知識や使い方を学んではどうか。初めから取り上げるのではなく、理解して正しい使い方を伝える準備をしてはどうか。

→委員

良いタイミングがあれば入れて良いと思う。また、大会やイベントにおいて強制的に出る機会があれば、そこから始まるものもあるのではないか。

→委員

国体やオリンピック種目になれば入れても良いのではないか。

⇒基本方針①の現状と課題部分に、今後研究・検討をしていく旨を記載することで合意。

7. その他

次回会議は2月19日（水）10時よりウイング21の2階多目的室にて開催。

今回の意見を事務局にて集約し、協議をする。

8. 閉 会